

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4046823号  
(P4046823)

(45) 発行日 平成20年2月13日(2008.2.13)

(24) 登録日 平成19年11月30日(2007.11.30)

(51) Int.Cl.

F 1

A 4 7 F 1/12 (2006.01)

A 4 7 F 1/12

A 4 7 F 5/00 (2006.01)

A 4 7 F 5/00

B

請求項の数 2 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-349236  
 (22) 出願日 平成9年12月18日(1997.12.18)  
 (65) 公開番号 特開平11-178681  
 (43) 公開日 平成11年7月6日(1999.7.6)  
 審査請求日 平成16年11月4日(2004.11.4)

(73) 特許権者 000133157  
 株式会社 T A N A - X  
 京都府京都市下京区高辻通新町西入堀之内  
 町 2 7 7 番地

(72) 発明者 須永 卓也  
 京都府京都市下京区高辻通新町西入堀之内  
 町 2 7 7 番地 株式会社タナカヤ内

審査官 藤井 眞吾

(56) 参考文献 実公平07-003968(JP, Y2)  
 )  
 特開平09-140521(JP, A)  
 特開平09-094141(JP, A)  
 特開平07-158243(JP, A)  
 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 吹き抜け床複段陳列トレー

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも上下二段のトレー本体 1 に於いて、底壁 2 を除く上部の床の中央を前後に貫いた吹き抜け部 3 を設け、前記の吹き抜け部 3 によって左右に分断された床を吹き抜け床 4 とし、本体 1 どうしを横に連結する箇所を設けた、吹き抜け床複段陳列トレー。

【請求項 2】

横に連結する箇所として、底壁 2 の周囲からスカート枠 5 を垂らし、一方の側壁 6 下のスカート枠 5 の中央から外側に向けて L 字状に突出した L 凸部 7 を設け、他方の側壁 6 下のスカート枠 5 の中央を窪ませて受け凹部 8 を設けた、請求項 1 記載の吹き抜け床複段連結トレー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、陳列トレーに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の陳列トレーは一段の物が多く、複段に成った物は下の段の物を取り出し易くする為に、上下段の間隔を広くしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

一段の物は上の空間を有効利用できず、複段の物で上下段の間隔を広くした物では、間隔を広くする分だけトレーの側壁を縦長にする必要があるので、トレー本体が大きくなる他、縦長に成る事によって重心が高くなるので、安定性が悪くなる、という欠点が生じる。本発明では、上下段の間隔を狭くしても下の段の物を出し入れし易くできる、という課題の解決を目的とする。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

段どうしの間を広くする目的は、下の段に置かれた商品を取り出す為に、指を入れる隙間の確保であり、上の段の中央を前後に貫いた溝で吹き抜け部を設けて吹き抜け床を形成する事で、吹き抜け部が指入れの隙間と成るので、上下段の間を狭める事ができる。

10

【 0 0 0 5 】

【発明の実施の形態】

本発明物は、透明樹脂或いは半透明樹脂を素材に用いて、インジェクション、つまり射出成形によって製造する。要部透視斜視図の図 1 に於いて、トレー本体 1 は、少なくとも二段設け、最下段の段を底壁 2 とし、上の段を床とし、床の中央を前後に貫く溝で吹き抜け部 3 を設け、この吹き抜け部 3 を有する床を吹き抜け床 4 とし、吹き抜け床 4 の正面端には塞き止め壁 9 を有しており、背面端には背壁 10 を有して塞き止めており、背壁 10 の中央も吹き抜け部 3 と同じ幅で縦に切り除かれて背除部 11 を有している事が望ましく、吹き抜け床 4 は側壁 6 と背壁 10 との上部領域に水平に取り付けられる事が望ましく、底壁 2 は前後に長い矩形を成しており、底壁 2 の周囲から下方にスカート枠 5 を垂らし、スカート枠 5 の両側の縁で、一方の下縁の中央から外側へ向けて水平に壁の厚み分だけ突出して折り上げられた L 字形状で L 凸部 7 を取り付け、他方の下縁の中央を壁の厚み分だけ窪ませて受け凹部 8 を形成し、一方の本体 1 の L 凸部 7 に、他方の本体 1 の受け凹部 8 を嵌め込む事によって本体 1 どうしは横に連結され、底壁 2 の正面縁から正面壁 12 を垂直に折り起こし、天縁から正面方向へ水平に折り出して天額縁帯 13 を延設し、正面縁から適宜な角度を有して表示壁 14 を延設し、表示壁 14 の一方の側の天地から L 字状のフック縁 15 を突出させてカードホルダー 16 を形成し、他方の側に有底の円柱形状でサンプル入れ 17 を形成しても良い。

20

【 0 0 0 6 】

商品を陳列した状態で示した要部透視斜視図の図 2 に於いて、下段の商品 18 は底壁 2 の上に置き、上段の商品 18 は吹き抜け床 4 上に置き、商品 18 の形状は箱形状であっても良いが、頂部の基部を紐で束ねて束ね部 19 を形成した巾着状の物である方が都合が良く、下段の商品 18 の束ね部 19 は、吹き抜け部 3 から食み出しており、この食み出した束ね部 19 を摘み上げる事によって、下段の商品 18 を容易に出し入れでき、カードホルダー 16 には値札や商品名などを表示し、サンプル入れ 17 には、商品 18 が香料であった場合、香りのサンプルを入れた瓶を収納しておく。

30

【 0 0 0 7 】

真っ正面の斜め上から示した要部透視斜視図の図 3 に於いて、本体 1 は三つのパーツから組み立てられており、スカート枠 5 と底壁 2 と表示壁 14 まで一体化した物を基礎にし、底壁 2 の両背角領域と側縁の中央と正面領域とに差込溝を設け、それらの溝へ、側壁と背壁と吹き抜け床とが一体化したパーツを差し込む事で固定し、背除部 11 を設ける事で側壁 6 のパーツは平たい形状に近づき、食み出し箇所が少ないので輸送時に割れる恐れが軽減される。

40

【 0 0 0 8 】

【発明の効果】

上段の床を吹き抜け床にした事によって、下段に収納された商品を出し入れする場合、吹き抜け部から指を入れるか又は商品の頂部の食み出した箇所を摘まんで正面の開口部から取り出す事ができ、L 凸部と受け凹部を設けた事で、複数のトレー本体を横に連結する事ができる。

【図面の簡単な説明】

50

【図 1】要部透視斜視図

【図 2】商品を陳列した状態で示した要部透視斜視図

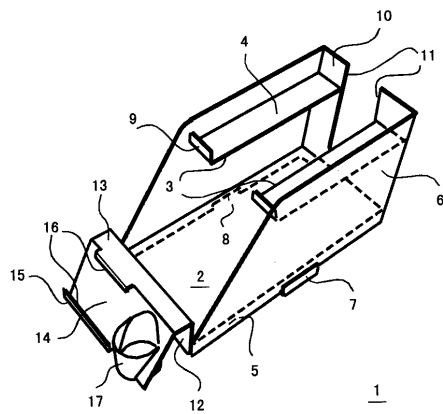
【図 3】真っ正面の斜め上から示した要部透視斜視図

【符号の説明】

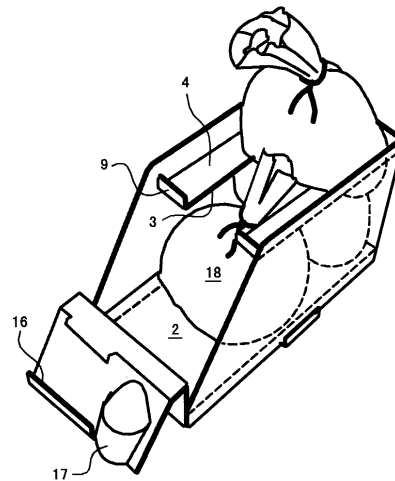
- 1 本体
- 2 底壁
- 3 吹き抜け部
- 4 吹き抜け床
- 5 スカート枠
- 6 側壁
- 7 L 凸部
- 8 受け凹部

10

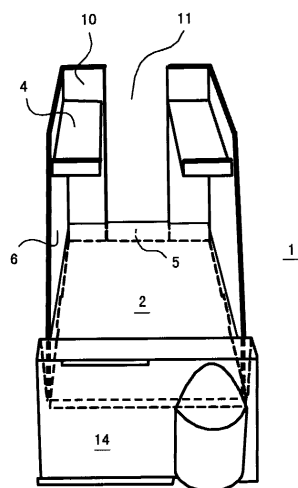
【図 1】



【図 2】



【図 3】



---

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

A47F 1/12

A47F 5/00